

生命を生みだす母親は
生命を育て 生命を守る
ことをのぞみます

母親しんぶん

ニュース版

No.10

2026.10.1

日本母親大会連絡会 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館内 (〒102-0084)
電話03 (3230) 1836 fax03 (3230) 1837 ホームページ<http://hahaoyataikai.ai.jp>

「第71回日本母親大会 in 宮城」

9月12日～13日仙台市

全国からのべ 11,000 人

(オンライン含む) が参加

平和・人権・ジェンダー平等が守られる社会を



日本国憲法公布 80 年、女性参政権行使 80 年、東日本大震災・東京電力福島原発事故から 15 年の節目の年に、「第 71 回日本母親大会 in 宮城」を 9 月 12 日～13 日宮城県仙台市で開催し、2 日間で全国からのべ 11,000 人が参加し、憲法改悪・大軍拡・大增税を許さず、いのちと暮らしを守り、平和でジェンダー平等の社会を切り開く決意と、明日からの歩みを前進させる展望を示す大会となりました。

大会 1 日目の全体会は、仙台サンプラザホールを会場にオンライン併用で、記念講演は猿田佐世さん（新外交イニシアティブ代表・弁護士）に「新しい外交を切り拓くー平和・人権・暮らしが守られる社会



猿田佐世さん



会場いっぱいの全体会

を」をテーマにお話しいただきました。参加者からは「外交は政府だけの仕事ではなく、人と人、地域と地域、国と国、様々なつながり対話をする。私たちも参加できる。日本人が外国の人に道を聞かれて、親切に教えることだって、回り回って外交なんだと思いました。」「世界を駆け巡る猿田さん。心の底からの平和の思いが伝わりました」文化行事の「仙台すずめ踊り」は、「圧巻でした。長い伝統を守り続けてこられたのですね。子ども



すずめ踊り

さんたちがかわいかったです」と感想が寄せられています。

2日目の分科会トークネットホール仙台（仙台市民会館）で「若い世代の企画」「子どもの問題・教育の問題」、「くらし・労働・社会保障」「女性と人権」、「平和と民主主義」「食と農業」「特別企画一東日本大震災・東京電力福島原発事故から15年・・・その教訓から学ぶべきこと」など15分科会、見学分科会は8コースに分かれ宮城・岩手・福島の被災地を訪問し、復興状況などを見学し学習・交流しました。

第2分科会では「いろいろな世代や立場の方がお互いにリスペクトしあって、子どもた

ちのためにどうしたらよいかと話し合うことができた」と助言者の梶谷陽子さんは感想を寄せてくださいました。

第6分科会は、「講師を先生と呼ばず、対等平等、皆で話し合っ作っていく体験をさせてくれた。社会保障についての学習は、もちろん、皆で話し合う雰囲気がとても素敵でした」と参加者からの感想です。



第6分科会

「荒浜小学校を見学し、ビデオを見て改めて大変な震災と津波だったことがわかりました。あきらめずに、復興に取り組んでおられる地元の皆さんに頭が下がります」と見学分科会の荒浜・井土コースの参加者からの感想です。



第20見学分科会荒浜・井土コース

大会の成功を力に、母親・女性たちの切実な願いをかがげ、連帯をいっそうつよめ、子どもたちに「核兵器も基地も原発も戦争もない平和で明るい未来」を手渡すために奮闘します。

『第72回日本母親大会で

お会いしましょう』